

令和2年度 食の安全・安心に関する施策

北海道食の安全・安心条例

北海道食の安全・安心基本計画

第1

食の安全・安心  
のための基本的  
施策の推進

情報の提供、食品等  
の検査及び監視など

- 1 食の安全・安心条例推進費【農政部】
- 2 食品衛生検査費【保健福祉部】
- 3 牛海綿状脳症検査費【保健福祉部】
- 4 食品衛生監視費、乳肉及び水産食品衛生指導費【保健福祉部】
- 5 緊急海水・水産物モニタリング調査事業費【水産林務部】

第2

安全で安心な食  
品の生産及び供  
給

食品の衛生管理の推  
進、農水産物等の安  
全及び安心の確保など

- 6 GAP(農業生産工程管理)実践レベルアップ事業費【農政部】
- 7 HACCP推進対策費【保健福祉部】
- 8 環境保全型農業総合推進事業費【農政部】
- 9 環境保全型農業直接支援対策事業費【農政部】
- 10 家畜衛生指導推進費【農政部】
- 11 北海道酪農・畜産の日EU・EPA等グローバル化対策事業費【農政部】

第3

道民から信頼さ  
れる表示及び認  
証の推進

適正な食品の表示の  
促進など

- 12 公正取引推進費、物価・消費生活モニター運営費【環境生活部】
- 13 食品表示適正化対策事業費【環境生活部】
- 14 米流通対策指導事業費【農政部】
- 15 きらりっぷ普及拡大事業費【農政部】
- 16 道産食品全国モニター運営費【農政部】

第4

情報及び意見の  
交換、相互理解  
の促進等

食育及び地産地消の  
推進など

- 17 北の大地のめぐみ愛食総合推進事業費【農政部】
- 18 どさんこ食育推進総合事業費【教育庁】
- 19 需要に応じたこめ産地づくり推進事業費【農政部】
- 20 米どころ・酒どころ北海道振興事業費 新
- 21 道産小麦商品の競争力強化促進事業費【農政部】
- 22 道産水産物魚食普及推進事業費【水産林務部】
- 23 6次産業化ネットワーク活動事業費【農政部】
- 24 食品製造業の研究・商品開発推進事業費【経済部】

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考																								
1	食の安全・安心条例 推進費 【農政部】  〔食の安全・安心 推進費のうち〕	2,694 (2,694)	2,947 (2,947)	<p>1 目的 北海道食の安全・安心条例に基づき、学識経験者、消費者及び生産者等を構成員とする「北海道食の安全・安心委員会」を知事の附属機関として設置し、幅広い道民の意見を施策に反映し、食の安全・安心の確保に関する取組を積極的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食の安全・安心委員会運営費</td> <td>・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議</td> <td>1,095 (1,095)</td> </tr> <tr> <td>食のリスクコミュニケーション開催費</td> <td>・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施</td> <td>257 (257)</td> </tr> <tr> <td>食の安全・安心委員会専門部会運営費</td> <td>・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議</td> <td>425 (425)</td> </tr> <tr> <td>遺伝子組換え作物モニタリング検証費</td> <td>・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査</td> <td>474 (474)</td> </tr> <tr> <td>食の安全・安心調査検討費</td> <td>・食の安全・安心に関する調査・検討</td> <td>443 (443)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食の安全・安心委員会運営費	・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議	1,095 (1,095)	食のリスクコミュニケーション開催費	・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施	257 (257)	食の安全・安心委員会専門部会運営費	・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議	425 (425)	遺伝子組換え作物モニタリング検証費	・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査	474 (474)	食の安全・安心調査検討費	・食の安全・安心に関する調査・検討	443 (443)							
区分	事業内容	予算額																											
食の安全・安心委員会運営費	・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議	1,095 (1,095)																											
食のリスクコミュニケーション開催費	・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施	257 (257)																											
食の安全・安心委員会専門部会運営費	・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議	425 (425)																											
遺伝子組換え作物モニタリング検証費	・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査	474 (474)																											
食の安全・安心調査検討費	・食の安全・安心に関する調査・検討	443 (443)																											
2	食品衛生検査費 【保健福祉部】  〔食品安全対策費 のうち〕	104,242 (97,804)	105,505 (98,091)	<p>1 目的 食品等の安全を確保するため、食品衛生法に基づく規格基準等について検査を行い、不良な食品等を排除することにより、食品衛生の向上を図る。 また、食品衛生検査施設にG L P（業務管理基準）の運用に必要な整備を行うことにより、検査業務の適切な管理を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>実施機関</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学物質等対策</td> <td>・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施</td> <td>保健所、衛生研究所等</td> <td>58,609 (52,943)</td> </tr> <tr> <td>道内食品安全対策調査事業</td> <td>・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施</td> <td>衛生研究所</td> <td>501 (501)</td> </tr> <tr> <td>遺伝子組換え食品検査</td> <td>・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施</td> <td>衛生研究所</td> <td>6,603 (6,603)</td> </tr> <tr> <td>食品衛生検査施設信頼性確保事業</td> <td>・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）</td> <td>北海道、外部検査機関</td> <td>37,757 (37,757)</td> </tr> <tr> <td>カネミ油症健康実態調査事業</td> <td>・カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律に基づく健康実態調査の実施</td> <td>北海道</td> <td>772 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	実施機関	予算額	化学物質等対策	・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施	保健所、衛生研究所等	58,609 (52,943)	道内食品安全対策調査事業	・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施	衛生研究所	501 (501)	遺伝子組換え食品検査	・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施	衛生研究所	6,603 (6,603)	食品衛生検査施設信頼性確保事業	・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）	北海道、外部検査機関	37,757 (37,757)	カネミ油症健康実態調査事業	・カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律に基づく健康実態調査の実施	北海道	772 (0)	
区分	事業内容	実施機関	予算額																										
化学物質等対策	・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施	保健所、衛生研究所等	58,609 (52,943)																										
道内食品安全対策調査事業	・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施	衛生研究所	501 (501)																										
遺伝子組換え食品検査	・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施	衛生研究所	6,603 (6,603)																										
食品衛生検査施設信頼性確保事業	・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）	北海道、外部検査機関	37,757 (37,757)																										
カネミ油症健康実態調査事業	・カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律に基づく健康実態調査の実施	北海道	772 (0)																										

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考									
3	牛海綿状脳症検査費 【保健福祉部】	10,755 (7,389)	9,793 (8,129)	<p>1 目的 道内8か所のと畜場において、搬入される牛及びめん羊・山羊を対象に牛海綿状脳症(BSE)検査を実施する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査機器整備</td> <td>フィルター交換、検査機器修理等</td> <td>5,242 (5,242)</td> </tr> <tr> <td>検査消耗品・ 検体送付</td> <td>検査キット、消耗品、検体送付</td> <td>5,513 (2,147)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 検査実施機関 ・道立食肉衛生検査所及び道立保健所</p>	区分	事業内容	予算額	検査機器整備	フィルター交換、検査機器修理等	5,242 (5,242)	検査消耗品・ 検体送付	検査キット、消耗品、検体送付	5,513 (2,147)	
区分	事業内容	予算額												
検査機器整備	フィルター交換、検査機器修理等	5,242 (5,242)												
検査消耗品・ 検体送付	検査キット、消耗品、検体送付	5,513 (2,147)												
4	食品衛生監視費、乳肉 及び水産食品衛生 指導費 【保健福祉部】  〔食品安全対策費 のうち〕	64,979 (10,514)	68,530 (10,572)	<p>1 目的 食品衛生法に基づき、監視指導計画を定め、食品関係施設を対象に食品衛生監視員による監視指導、製品等の収去及び検査、食品衛生指導などを行い、食品等の安全性を確保する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品衛生監視費</td> <td>・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策</td> <td>34,525 (0)</td> </tr> <tr> <td>乳肉及び水産食品衛生指導費</td> <td>・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施</td> <td>30,454 (10,514)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 保健所、衛生研究所、北海道、食肉衛生検査所</p>	区分	事業内容	予算額	食品衛生監視費	・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策	34,525 (0)	乳肉及び水産食品衛生指導費	・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施	30,454 (10,514)	
区分	事業内容	予算額												
食品衛生監視費	・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策	34,525 (0)												
乳肉及び水産食品衛生指導費	・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施	30,454 (10,514)												

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考												
5	緊急海水・水産物 モニタリング調査 事業費 【水産林務部】 (水産物流通総合 対策事業費 のうち)	406 (406)	406 (406)	1 目的 福島第一原子力発電所の事故の発生により、放射性物質が海洋に放出されたことから、 海水・水産物モニタリング調査を実施し、道産水産物の安全・安心についてPRに努める。  2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水検査</td> <td>                             ・検査場所：太平洋側3地点                              ・検査対象：海水                              ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)                         </td> <td rowspan="2">北海道</td> <td rowspan="2">406 (406)</td> </tr> <tr> <td>水産物検査</td> <td>                             ・検査場所：太平洋側3海域                              ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種                              ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回                         </td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	海水検査	・検査場所：太平洋側3地点 ・検査対象：海水 ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)	北海道	406 (406)	水産物検査	・検査場所：太平洋側3海域 ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種 ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回			
区分	事業内容	事業主体	予算額														
海水検査	・検査場所：太平洋側3地点 ・検査対象：海水 ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)	北海道	406 (406)														
水産物検査	・検査場所：太平洋側3海域 ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種 ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回																
6	G A P (農業生産工程管理) 実践レベルアップ 事業費 【農政部】 (環境保全型農業総合 推進事業費のうち)	29,406 (193)	39,855 (256)	1 目的 農業生産段階における有効なリスク管理の手法であるGAP(農業生産工程管理)につ いて、道内の主要な産地への導入に向けた普及啓発や指導体制の整備、国際水準GAPの 産地への円滑な導入を促進する。  2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導体制整備</td> <td>・普及指導員GAP指導者育成研修</td> <td>北海道</td> <td>193 (193)</td> </tr> <tr> <td>国際水準GAP の取組拡大</td> <td>                             ・産地指導者の育成・充実強化                              ・農業者等の取組促進                              ・農業教育機関等の認証取得支援                         </td> <td>北海道</td> <td>29,213 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	指導体制整備	・普及指導員GAP指導者育成研修	北海道	193 (193)	国際水準GAP の取組拡大	・産地指導者の育成・充実強化 ・農業者等の取組促進 ・農業教育機関等の認証取得支援	北海道	29,213 (0)	
区分	事業内容	事業主体	予算額														
指導体制整備	・普及指導員GAP指導者育成研修	北海道	193 (193)														
国際水準GAP の取組拡大	・産地指導者の育成・充実強化 ・農業者等の取組促進 ・農業教育機関等の認証取得支援	北海道	29,213 (0)														

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考												
7	H A C C P 推進対策費 【保健福祉部】  〔 食品安全対策費 のうち 〕	3,699 ( 1,220)	2,558 ( 936)	<p>1 目的 食品衛生法の改正に伴うHACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の導入を食品等事業者 者に周知・指導するとともに、新たな道認証制度を活用し、安全性確保と衛生的付加価値 の向上により道産食品のブランド力の向上を図る。</p> <p>----- HACCP ----- HACCPとは、より安全な食品を提供するために考えられた食品の衛生管理システムで、食品の各製造工程ごとに人の健康 に害を及ぼす可能性をチェックし、対策を立て、特に重要な工程について集中的に衛生管理を実施し、安全な食品をつくる方式。 平成30年(2018年)6月、食品衛生法が改正され、原則すべての食品等事業者がHACCPに沿った衛生管理を導入することとなった。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品衛生法改正周知 ・事業者導入支援</td> <td>・HACCP導入講習会の開催 ・法改正周知資料の作成、配布 等</td> <td>2,040 ( 261)</td> </tr> <tr> <td>新認証制度の周 知や普及</td> <td>・普及啓発資料の作成、配布 ・認証制度事例集の作成</td> <td>959 ( 959)</td> </tr> <tr> <td>新認証制度活用 の拡大</td> <td>・認証制度・食品等紹介のWEB開設</td> <td>700 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	食品衛生法改正周知 ・事業者導入支援	・HACCP導入講習会の開催 ・法改正周知資料の作成、配布 等	2,040 ( 261)	新認証制度の周 知や普及	・普及啓発資料の作成、配布 ・認証制度事例集の作成	959 ( 959)	新認証制度活用 の拡大	・認証制度・食品等紹介のWEB開設	700 ( 0)	
区 分	事業内容	予算額															
食品衛生法改正周知 ・事業者導入支援	・HACCP導入講習会の開催 ・法改正周知資料の作成、配布 等	2,040 ( 261)															
新認証制度の周 知や普及	・普及啓発資料の作成、配布 ・認証制度事例集の作成	959 ( 959)															
新認証制度活用 の拡大	・認証制度・食品等紹介のWEB開設	700 ( 0)															
8	環境保全型農業 総合推進事業費 【農政部】	9,723 ( 7,135)	7,751 ( 5,461)	<p>1 目的 環境との調和に配慮したクリーン農業や有機農業の取組拡大を図るため、地域や関係団 体と連携して生産技術の向上や、流通・消費の拡大等を総合的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新 持続可能な 農を支える クリーン農業 促進事業費</td> <td>・地域条件に即した技術指導や生産者の意識啓発 ・現地実証ほの設置 及び現地検討会の開催 ・消費者向けクリーン農業出前講座や生産者交流 ・YES!cleanサポーター制度の展開</td> <td>北海道、 クリーン 農業推進 協議会</td> <td>5,327 ( 4,327)</td> </tr> <tr> <td>新 オーガニック農業 普及・販路拡大 推進事業費</td> <td>・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・有機農業への「転換の手引き」作成 ・農業体験イベント実施等によるPR活動 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催</td> <td>北海道</td> <td>4,396 ( 2,808)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	事業内容	事業主体	予算額	新 持続可能な 農を支える クリーン農業 促進事業費	・地域条件に即した技術指導や生産者の意識啓発 ・現地実証ほの設置 及び現地検討会の開催 ・消費者向けクリーン農業出前講座や生産者交流 ・YES!cleanサポーター制度の展開	北海道、 クリーン 農業推進 協議会	5,327 ( 4,327)	新 オーガニック農業 普及・販路拡大 推進事業費	・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・有機農業への「転換の手引き」作成 ・農業体験イベント実施等によるPR活動 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催	北海道	4,396 ( 2,808)	
区 分	事業内容	事業主体	予算額														
新 持続可能な 農を支える クリーン農業 促進事業費	・地域条件に即した技術指導や生産者の意識啓発 ・現地実証ほの設置 及び現地検討会の開催 ・消費者向けクリーン農業出前講座や生産者交流 ・YES!cleanサポーター制度の展開	北海道、 クリーン 農業推進 協議会	5,327 ( 4,327)														
新 オーガニック農業 普及・販路拡大 推進事業費	・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・有機農業への「転換の手引き」作成 ・農業体験イベント実施等によるPR活動 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催	北海道	4,396 ( 2,808)														

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考												
9	環境保全型農業 直接支援対策事業費 【農政部】	1,076,161 ( 350,000)	1,072,882 ( 350,000)	<p>1 目的 環境保全型農業を拡大・定着させるため、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動を実践する農業者の組織する団体等を支援する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全型農業 直接支払交付金</td> <td>・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付</td> <td>農業者の組織する団体等</td> <td>1,050,000 ( 350,000)</td> </tr> <tr> <td>推進費</td> <td>・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等</td> <td>北海道、市町村</td> <td>26,161 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	環境保全型農業 直接支払交付金	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付	農業者の組織する団体等	1,050,000 ( 350,000)	推進費	・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等	北海道、市町村	26,161 ( 0)	
区分	事業内容	事業主体	予算額														
環境保全型農業 直接支払交付金	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付	農業者の組織する団体等	1,050,000 ( 350,000)														
推進費	・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等	北海道、市町村	26,161 ( 0)														
10	家畜衛生指導推進費 【農政部】	2,730 ( 0)	2,810 ( 0)	<p>1 目的 家畜衛生自衛防疫組織の育成・強化による健康な家畜の飼育並びに販売業者及び飼育動物診療施設等における動物用医薬品等の適正な取扱いを指導・監督することにより、家畜衛生業務の円滑な推進を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家畜自衛防疫 推進指導費</td> <td>・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催</td> <td>1,320 ( 0)</td> </tr> <tr> <td>動物用医薬品 指導監督費</td> <td>・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録</td> <td>1,237 ( 0)</td> </tr> <tr> <td>北海道獣医療 提供体制整備 計画策定</td> <td>・整備計画策定に係る検討会の開催</td> <td>173 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	家畜自衛防疫 推進指導費	・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催	1,320 ( 0)	動物用医薬品 指導監督費	・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録	1,237 ( 0)	北海道獣医療 提供体制整備 計画策定	・整備計画策定に係る検討会の開催	173 ( 0)	
区分	事業内容	予算額															
家畜自衛防疫 推進指導費	・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催	1,320 ( 0)															
動物用医薬品 指導監督費	・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録	1,237 ( 0)															
北海道獣医療 提供体制整備 計画策定	・整備計画策定に係る検討会の開催	173 ( 0)															

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考												
11	北海道酪農・畜産の 日EU・EPA等 グローバル化対策 事業費(関連分) 【農政部】  〔畜産振興総合対策 事業費のうち〕	977 ( 977 )	1,280 ( 1,280 )	<p>1 目的 日EU・EPA交渉の妥結など、国際情勢の変化に対応しうる、本道の酪農生産基盤を早急に強化するため、「北海道酪農・肉用牛生産近代化計画」等の目標を前倒して達成するための取組を行う。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">酪農生産基盤強化対策費</td> </tr> <tr> <td>草地植生改善の推進</td> <td>・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の普及</td> <td>1,280 ( 1,280 )</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	酪農生産基盤強化対策費			草地植生改善の推進	・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の普及	1,280 ( 1,280 )				
区 分	事業内容	予算額															
酪農生産基盤強化対策費																	
草地植生改善の推進	・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の普及	1,280 ( 1,280 )															
12	公正取引推進費、 物価・消費生活 モニター運営費 【環境生活部】  〔消費生活向上対策 事業費のうち〕	7,075 ( 7,075 )	7,427 ( 7,427 )	<p>1 目的 食品小売店等への立入検査の実施や事業者への指導を通じて、公正な取引の確保及び表示等の適正化を図るとともに、消費生活モニターによる消費生活関連商品等の表示状況等の調査により消費生活の安定・向上に資する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品表示適正化対策費</td> <td>・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う</td> <td>306 ( 306 )</td> </tr> <tr> <td>不当景品類等防止事務費</td> <td>・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う</td> <td>37 ( 37 )</td> </tr> <tr> <td>物価、消費生活モニター運営費</td> <td>・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守状況の調査・監視を行う</td> <td>6,732 ( 6,732 )</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	食品表示適正化対策費	・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	306 ( 306 )	不当景品類等防止事務費	・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	37 ( 37 )	物価、消費生活モニター運営費	・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守状況の調査・監視を行う	6,732 ( 6,732 )	
区 分	事業内容	予算額															
食品表示適正化対策費	・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	306 ( 306 )															
不当景品類等防止事務費	・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	37 ( 37 )															
物価、消費生活モニター運営費	・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守状況の調査・監視を行う	6,732 ( 6,732 )															

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考									
13	食品表示適正化対策 事業費 【環境生活部】  〔消費生活向上対策 事業費のうち〕	3,217 ( 0)	3,265 ( 0)	<p>1 目的 食品表示の適正化を図るため、飲食店関係事業者に対する表示調査や景品表示法の普及啓発を行うとともに、専門電話「景品表示法ホットライン」による事業者からのメニュー表示等の相談等を受け付けるほか、食品表示制度等に関するセミナーを開催し、消費者と事業者の食品表示制度に関する意識の向上を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品表示調査・普及啓発等事業</td> <td>・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置</td> <td>1,380 ( 0)</td> </tr> <tr> <td>食品表示セミナー開催事業</td> <td>・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催</td> <td>1,837 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	食品表示調査・普及啓発等事業	・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置	1,380 ( 0)	食品表示セミナー開催事業	・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催	1,837 ( 0)	
区 分	事業内容	予算額												
食品表示調査・普及啓発等事業	・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置	1,380 ( 0)												
食品表示セミナー開催事業	・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催	1,837 ( 0)												
14	米流通対策指導事業費 【農政部】  〔米産地育成総合 対策事業費のうち〕	838 ( 838)	916 ( 916)	<p>1 目的 米穀取扱業者等への立入検査の実施や事業者への指導、普及啓発等を通じて、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達並びに米穀出荷・販売事業者の遵守事項の履行の適正化を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米トレサ法 対 策 費</td> <td>・立入検査、巡回調査、巡回指導の実施</td> <td>194 ( 194)</td> </tr> <tr> <td>米穀事業者遵守 事項対策費</td> <td>・立入検査の実施</td> <td>644 ( 644)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	米トレサ法 対 策 費	・立入検査、巡回調査、巡回指導の実施	194 ( 194)	米穀事業者遵守 事項対策費	・立入検査の実施	644 ( 644)	
区 分	事業内容	予算額												
米トレサ法 対 策 費	・立入検査、巡回調査、巡回指導の実施	194 ( 194)												
米穀事業者遵守 事項対策費	・立入検査の実施	644 ( 644)												

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考						
15	きらりっぶ普及拡大 事業費 【農政部】 (食の安全・安心 推進費のうち)	440 (440)	447 (447)	1 目的 道産食品に対する消費者の信頼の確保と北海道ブランドの向上を図ることを目的として、平成16年度から実施している道産食品独自認証制度(愛称：きらりっぶ)の普及(PＲ活動や情報発信)と理想的な制度の在り方の検討を進めていくこととする。 2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きらりっぶ 普及拡大事業</td> <td>・制度の普及(PＲ活動や情報発信) ・理想的な制度の在り方の検討</td> <td>440 (440)</td> </tr> </tbody> </table> 3 事業主体 北海道	区分	事業内容	予算額	きらりっぶ 普及拡大事業	・制度の普及(PＲ活動や情報発信) ・理想的な制度の在り方の検討	440 (440)	
区分	事業内容	予算額									
きらりっぶ 普及拡大事業	・制度の普及(PＲ活動や情報発信) ・理想的な制度の在り方の検討	440 (440)									
16	道産食品全国 モニター運営費 【農政部】 (食の安全・安心 推進費のうち)	248 (248)	248 (248)	1 目的 北海道ブランドの向上と一般の消費者に信頼される道産食材の生産、流通の実現を目的として、日常の買い物を通じ道産食材の表示をチェックするとともに、意見等を提言する道産食品全国モニターを全国の都府県に配置する。 2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道産食品全国 モニター運営費</td> <td>・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを 全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応</td> <td>248 (248)</td> </tr> </tbody> </table> 3 事業主体 北海道	区分	事業内容	予算額	道産食品全国 モニター運営費	・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを 全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応	248 (248)	
区分	事業内容	予算額									
道産食品全国 モニター運営費	・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを 全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応	248 (248)									

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考																								
17	北の大地のめぐみ愛食 総合推進事業費 【農政部】	222,637 (26,550)	71,268 (15,913)	<p>1 目的 北海道食育推進計画に基づき、北海道の「食」を生かした健全な食生活の実現を目指し、食育の取組を総合的に進めるとともに、食品ロス削減に向けた取組を推進する。 また、東京オリンピック札幌開催に合わせ、来道する多くの観光客に対して食のおもてなしを行い、国内外に北海道の食の素晴らしさをPRする。 さらに、「北海道食の輸出拡大戦略」に基づき、北海道産農畜産物の輸出拡大に向けた各種取組を総合的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どさんこ食育 推進事業費</td> <td>・食育推進優良活動の表彰 ・高齢者への食育講座、親子体験教室の開催 ・食べ残し等削減セミナー開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援</td> <td>北海道、 市町村等</td> <td>18,358 (2,009)</td> </tr> <tr> <td>新 東京2020 オリパラ 食のおもてなし 事業費</td> <td>・各地の地元特産品等のPR ・企業による道産農産物を使用した商品の出品 ・地域の子どもが収穫した果実を使った加工品の提供</td> <td>北海道</td> <td>17,750 (17,750)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">道産農畜産物輸出総合対策事業費</td> </tr> <tr> <td>道産農水産物 輸出拡大戦略 推進事業費</td> <td>・商社等への輸出状況や海外展開ニーズの把握 ・国内の商談会への出展 ・生産現場へのバイヤー招へい</td> <td>北海道、 農畜産物 ・水産物 輸出推進 協議会</td> <td>4,148 (4,148)</td> </tr> <tr> <td>グローバル 産地づくり 推進事業</td> <td>・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズに対する機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、輸出に関する課題解決に取り組む団体等に対する支援</td> <td>北海道、 農林漁業 者等が組 織する団 体、民間 事業者等</td> <td>182,381 (2,643)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	どさんこ食育 推進事業費	・食育推進優良活動の表彰 ・高齢者への食育講座、親子体験教室の開催 ・食べ残し等削減セミナー開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援	北海道、 市町村等	18,358 (2,009)	新 東京2020 オリパラ 食のおもてなし 事業費	・各地の地元特産品等のPR ・企業による道産農産物を使用した商品の出品 ・地域の子どもが収穫した果実を使った加工品の提供	北海道	17,750 (17,750)	道産農畜産物輸出総合対策事業費				道産農水産物 輸出拡大戦略 推進事業費	・商社等への輸出状況や海外展開ニーズの把握 ・国内の商談会への出展 ・生産現場へのバイヤー招へい	北海道、 農畜産物 ・水産物 輸出推進 協議会	4,148 (4,148)	グローバル 産地づくり 推進事業	・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズに対する機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、輸出に関する課題解決に取り組む団体等に対する支援	北海道、 農林漁業 者等が組 織する団 体、民間 事業者等	182,381 (2,643)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																										
どさんこ食育 推進事業費	・食育推進優良活動の表彰 ・高齢者への食育講座、親子体験教室の開催 ・食べ残し等削減セミナー開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援	北海道、 市町村等	18,358 (2,009)																										
新 東京2020 オリパラ 食のおもてなし 事業費	・各地の地元特産品等のPR ・企業による道産農産物を使用した商品の出品 ・地域の子どもが収穫した果実を使った加工品の提供	北海道	17,750 (17,750)																										
道産農畜産物輸出総合対策事業費																													
道産農水産物 輸出拡大戦略 推進事業費	・商社等への輸出状況や海外展開ニーズの把握 ・国内の商談会への出展 ・生産現場へのバイヤー招へい	北海道、 農畜産物 ・水産物 輸出推進 協議会	4,148 (4,148)																										
グローバル 産地づくり 推進事業	・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズに対する機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、輸出に関する課題解決に取り組む団体等に対する支援	北海道、 農林漁業 者等が組 織する団 体、民間 事業者等	182,381 (2,643)																										

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考																		
18	<p>どさんこ食育推進 総合事業費 【教育庁】</p> <p>〔学校給食普及指導 費のうち〕</p>	12,565 ( 0)	12,537 ( 0)	<p>1 目的 児童生徒が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自ら健康管理ができるよう、学校・家庭・地域が一体となって食育を推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つながる食育 推進事業</td> <td>・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する</td> <td>6,362 ( 0)</td> </tr> <tr> <td>社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業</td> <td>・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。</td> <td>6,203 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	つながる食育 推進事業	・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する	6,362 ( 0)	社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業	・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。	6,203 ( 0)										
区 分	事業内容	予算額																					
つながる食育 推進事業	・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する	6,362 ( 0)																					
社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業	・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。	6,203 ( 0)																					
19	<p>需要に応じたこめ産地 づくり推進事業費 【農政部】</p> <p>〔米産地育成総合 対策事業費のうち〕</p>	3,793 ( 3,793)	4,561 ( 4,561)	<p>1 目的 平成30年産以降の米政策見直しに対応し、本道における需要に応じた米生産を推進するため、北海道米の消費拡大や多様なニーズに対応した生産力の向上を図るとともに、低コストや省力化生産を推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北海道米の 消費拡大</td> <td>・北海道米販売拡大戦略会議の開催 ・北海道米プロモーション活動の実施</td> <td>北海道</td> <td>178 ( 178)</td> </tr> <tr> <td>・道内空港等における北海道米PRの支援</td> <td>北海道米販売 拡大委員会</td> <td>2,700 ( 2,700)</td> </tr> <tr> <td>多様な実需ニーズ に対応した 生産力の向上</td> <td>・飼料用米生産・利用推進協議会の開催 ・飼料用米作付け拡大に向けた推進活動</td> <td rowspan="2">北海道</td> <td>633 ( 633)</td> </tr> <tr> <td>低コスト・省力化 生産技術の推進</td> <td>・検討会議、技術研修会の開催 ・技術情報の発信</td> <td>282 ( 282)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	事業内容	事業主体	予算額	北海道米の 消費拡大	・北海道米販売拡大戦略会議の開催 ・北海道米プロモーション活動の実施	北海道	178 ( 178)	・道内空港等における北海道米PRの支援	北海道米販売 拡大委員会	2,700 ( 2,700)	多様な実需ニーズ に対応した 生産力の向上	・飼料用米生産・利用推進協議会の開催 ・飼料用米作付け拡大に向けた推進活動	北海道	633 ( 633)	低コスト・省力化 生産技術の推進	・検討会議、技術研修会の開催 ・技術情報の発信	282 ( 282)	
区 分	事業内容	事業主体	予算額																				
北海道米の 消費拡大	・北海道米販売拡大戦略会議の開催 ・北海道米プロモーション活動の実施	北海道	178 ( 178)																				
	・道内空港等における北海道米PRの支援	北海道米販売 拡大委員会	2,700 ( 2,700)																				
多様な実需ニーズ に対応した 生産力の向上	・飼料用米生産・利用推進協議会の開催 ・飼料用米作付け拡大に向けた推進活動	北海道	633 ( 633)																				
低コスト・省力化 生産技術の推進	・検討会議、技術研修会の開催 ・技術情報の発信		282 ( 282)																				

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考												
20	<p>新 米どころ・酒どころ 北海道振興事業費 【農政部】</p> <p>〔米産地育成総合 対策事業費のうち〕</p>	19,252 (19,252)	0 (0)	<p>1 目的 道産日本酒の輸出拡大に向けて、北海道らしい日本酒を造るための酒米の生産振興や、道産日本酒のブランド力強化に向けた取組を総合的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道産酒米の 生産振興</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒米品種開発の加速化</li> <li>・日本酒関係者による情報共有・連携</li> <li>・酒米栽培技術指導、生産技術研修会の開催</li> <li>・酒蔵の道産酒米に対する評価の把握</li> </ul> </td> <td>11,273 (11,273)</td> </tr> <tr> <td>道産日本酒の ブランド力強化</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的表示（GI）・地域団体商標の活用支援</li> <li>・道内酒蔵の技術向上</li> <li>・道産酒米を使った日本酒のプロモーション</li> </ul> </td> <td>7,979 (7,979)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	道産酒米の 生産振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒米品種開発の加速化</li> <li>・日本酒関係者による情報共有・連携</li> <li>・酒米栽培技術指導、生産技術研修会の開催</li> <li>・酒蔵の道産酒米に対する評価の把握</li> </ul>	11,273 (11,273)	道産日本酒の ブランド力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的表示（GI）・地域団体商標の活用支援</li> <li>・道内酒蔵の技術向上</li> <li>・道産酒米を使った日本酒のプロモーション</li> </ul>	7,979 (7,979)				
区分	事業内容	予算額															
道産酒米の 生産振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒米品種開発の加速化</li> <li>・日本酒関係者による情報共有・連携</li> <li>・酒米栽培技術指導、生産技術研修会の開催</li> <li>・酒蔵の道産酒米に対する評価の把握</li> </ul>	11,273 (11,273)															
道産日本酒の ブランド力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的表示（GI）・地域団体商標の活用支援</li> <li>・道内酒蔵の技術向上</li> <li>・道産酒米を使った日本酒のプロモーション</li> </ul>	7,979 (7,979)															
21	<p>道産小麦商品の競争 力強化促進事業費 【農政部】</p> <p>〔畑作物生産改善 対策費のうち〕</p>	1,911 (1,271)	2,400 (2,400)	<p>1 目的 海外・道外的小麦商品に対して競争力を有する道産小麦商品づくりを推進するため、良質な道産小麦の生産量を拡大する取組や、商品力を高める取組を実施し、更なる地産地消と農業・農村の所得向上につなげる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域実証検討会開催</li> <li>・全道生産拡大検討会開催</li> </ul> </td> <td>北海道</td> <td>640 (640)</td> </tr> <tr> <td>流通・付加価値 向上対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道産小麦新商品開発セミナー開催</li> <li>・道産小麦新商品開発発表会開催</li> </ul> </td> <td>北海道</td> <td>1,271 (1,271)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	生産対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域実証検討会開催</li> <li>・全道生産拡大検討会開催</li> </ul>	北海道	640 (640)	流通・付加価値 向上対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道産小麦新商品開発セミナー開催</li> <li>・道産小麦新商品開発発表会開催</li> </ul>	北海道	1,271 (1,271)	
区分	事業内容	事業主体	予算額														
生産対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域実証検討会開催</li> <li>・全道生産拡大検討会開催</li> </ul>	北海道	640 (640)														
流通・付加価値 向上対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道産小麦新商品開発セミナー開催</li> <li>・道産小麦新商品開発発表会開催</li> </ul>	北海道	1,271 (1,271)														

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考																				
22	道産水産物魚食普及 推進事業費 【水産林務部】  〔水産物流通総合 対策事業費 のうち〕	2,284 (2,284)	2,311 (2,311)	<p>1 目的 道産水産物の魚価の安定化を図るため、道産水産物の学校等給食への導入や多様な魚食形態の創出を促進することにより、減少を続ける魚介類の消費量を回復させる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚食習慣 定着促進</td> <td>・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援</td> <td rowspan="2">漁業者団体</td> <td rowspan="2">2,100 (2,100)</td> </tr> <tr> <td>道産水産物 普及促進</td> <td>・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援</td> </tr> <tr> <td>現地指導</td> <td>・現地指導等</td> <td>北海道</td> <td>184 (184)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	魚食習慣 定着促進	・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援	漁業者団体	2,100 (2,100)	道産水産物 普及促進	・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援	現地指導	・現地指導等	北海道	184 (184)							
区分	事業内容	事業主体	予算額																						
魚食習慣 定着促進	・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援	漁業者団体	2,100 (2,100)																						
道産水産物 普及促進	・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援																								
現地指導	・現地指導等	北海道	184 (184)																						
23	6次産業化ネットワーク 活動事業費 【農政部】	1,188,513 (871)	666,497 (1,219)	<p>1 目的 農林漁業者が流通業者・食品事業者等と連携して取り組む6次産業化を推進するため、「北海道6次産業化サポートセンター」を設置・運営するとともに、地域におけるネットワークづくりを進める。 また、農林漁業者等がネットワークを構築して取り組む新商品開発や加工・販売施設等の整備を支援する。 さらに、HACCP等輸出に必要な基準を満たすため、施設の整備を支援する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サポート 事業費</td> <td>・6次産業化サポートセンターの設置・運営</td> <td>北海道</td> <td>34,145 (0)</td> </tr> <tr> <td>ネットワークづくり 支援事業費</td> <td>・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営改善等の講演や個別相談会の実施</td> <td>北海道</td> <td>782 (782)</td> </tr> <tr> <td>食料産業・ 6次産業化 交付金事業費</td> <td>・農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援 ・人材育成研修会の開催</td> <td>農林漁業者等</td> <td>633,586 (89)</td> </tr> <tr> <td>新 食品産業の輸出 向けHACCP等 対応施設整備 事業費</td> <td>・HACCP等輸出に必要な基準を満たすため、施設の改修及び新設や機器の整備、体制整備に対する支援</td> <td>食品加工 事業者等</td> <td>520,000 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	サポート 事業費	・6次産業化サポートセンターの設置・運営	北海道	34,145 (0)	ネットワークづくり 支援事業費	・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営改善等の講演や個別相談会の実施	北海道	782 (782)	食料産業・ 6次産業化 交付金事業費	・農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援 ・人材育成研修会の開催	農林漁業者等	633,586 (89)	新 食品産業の輸出 向けHACCP等 対応施設整備 事業費	・HACCP等輸出に必要な基準を満たすため、施設の改修及び新設や機器の整備、体制整備に対する支援	食品加工 事業者等	520,000 (0)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																						
サポート 事業費	・6次産業化サポートセンターの設置・運営	北海道	34,145 (0)																						
ネットワークづくり 支援事業費	・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営改善等の講演や個別相談会の実施	北海道	782 (782)																						
食料産業・ 6次産業化 交付金事業費	・農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援 ・人材育成研修会の開催	農林漁業者等	633,586 (89)																						
新 食品産業の輸出 向けHACCP等 対応施設整備 事業費	・HACCP等輸出に必要な基準を満たすため、施設の改修及び新設や機器の整備、体制整備に対する支援	食品加工 事業者等	520,000 (0)																						

令和2年度 食の安全・安心に関する当初予算の主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和2年度 予算額 (一般財源)	令和元年度 2定現計額 (一般財源)	事業の概要	備考						
24	食品製造業の研究・ 商品開発推進事業費 【経済部】  (地方創生対策推進 費のうち)	37,825 (18,913)	37,825 (18,913)	<p>1 目的 道産食品の高付加価値化や北海道ブランドの向上・磨き上げを図るため、食の健康機能性に関する研究体制を構築するとともに、道産機能性食品の開発の取組を進める。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品製造業の研究・商品開発推進事業</td> <td>・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進</td> <td>37,825 (18,913)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食品製造業の研究・商品開発推進事業	・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進	37,825 (18,913)	
区分	事業内容	予算額									
食品製造業の研究・商品開発推進事業	・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進	37,825 (18,913)									